

中期経営計画

2006 ~ 2008

2006年4月

住友金属工業株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本日の内容

- ⑧ 本計画の位置付けと当社を目指す方向
- ⑧ 差別化の加速
- ⑧ 見えない資産を磨く
- ⑧ 堅固な事業基盤の構築
- ⑧ 財務計画
- ⑧ 住友の事業精神

本計画の位置付けと 当社の目指す方向

2006

2008

2015

本計画の位置付け

創業

- 1897 住友伸銅場／1901住友鑄鋼場
- 1912 民間初の冷間シームレス製造

終戦

- 1949 新扶桑金属工業(株)＜現 住友金属工業(株)＞設立
- 1953 小倉製鉄所発足／1956 鉄鋼長期計画策定
- 1961 和歌山1高炉火入／1968 鹿島製鉄所発足
- 1972 全国粗鋼ピーク 従業員3万2千名
- 1974 シームレスブーム 単独申告所得日本一

高炉一貫 高度成長

鉄冷え,多角化の拡大と縮小,平成不況

- 2004 鹿島新高炉火入れ
- 2005 薄板構造改革完成
- 2005 2年連続最高益更新

中期経営計画
(02-05)

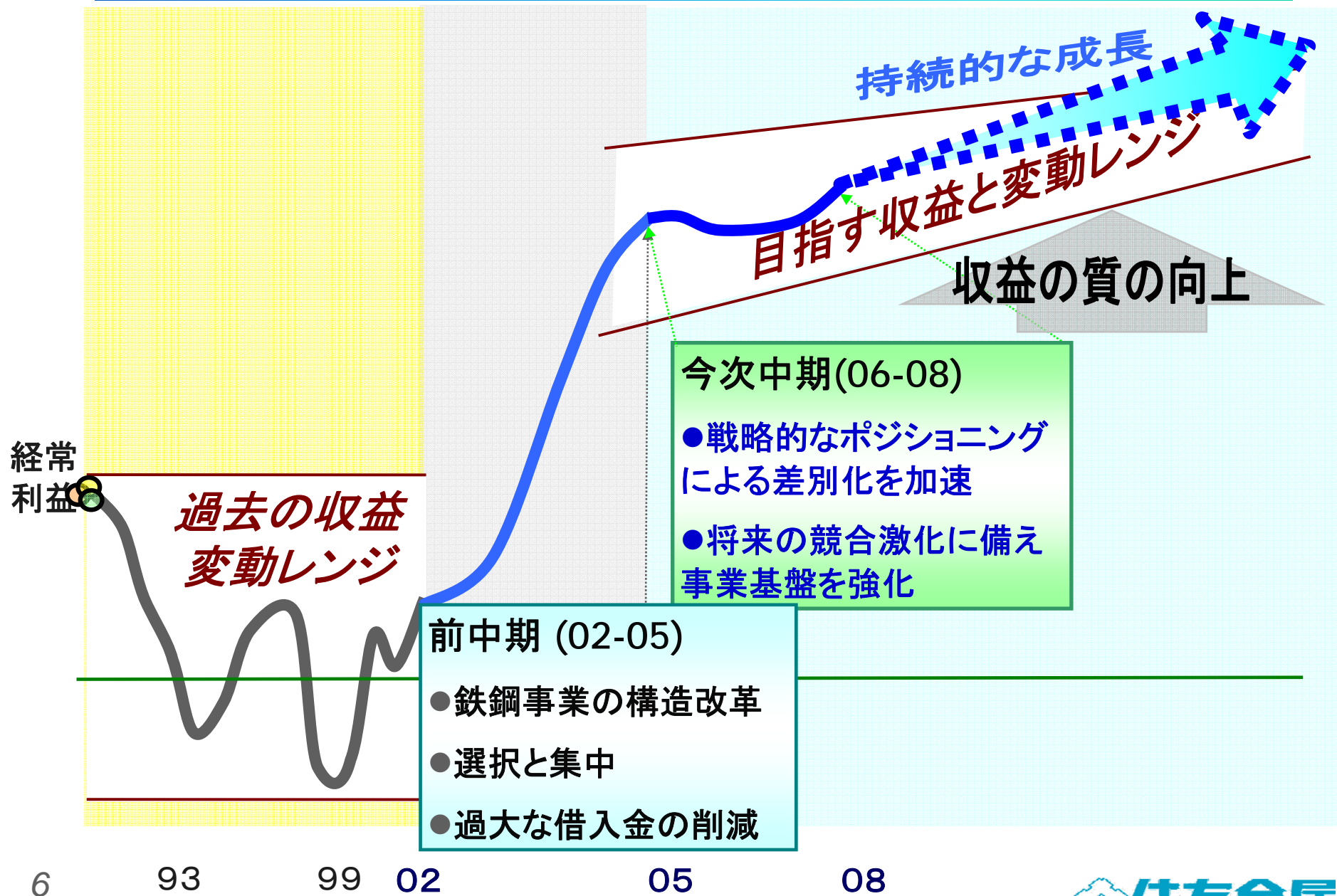
堅固な事業 基盤確立

ポジショニングの 差別化加速

10年後を見据えて

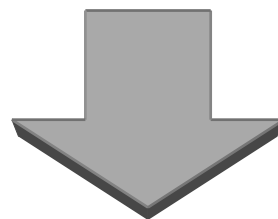
中期経営計画
(06-08)

成長に向けた堅固な事業基盤の確立



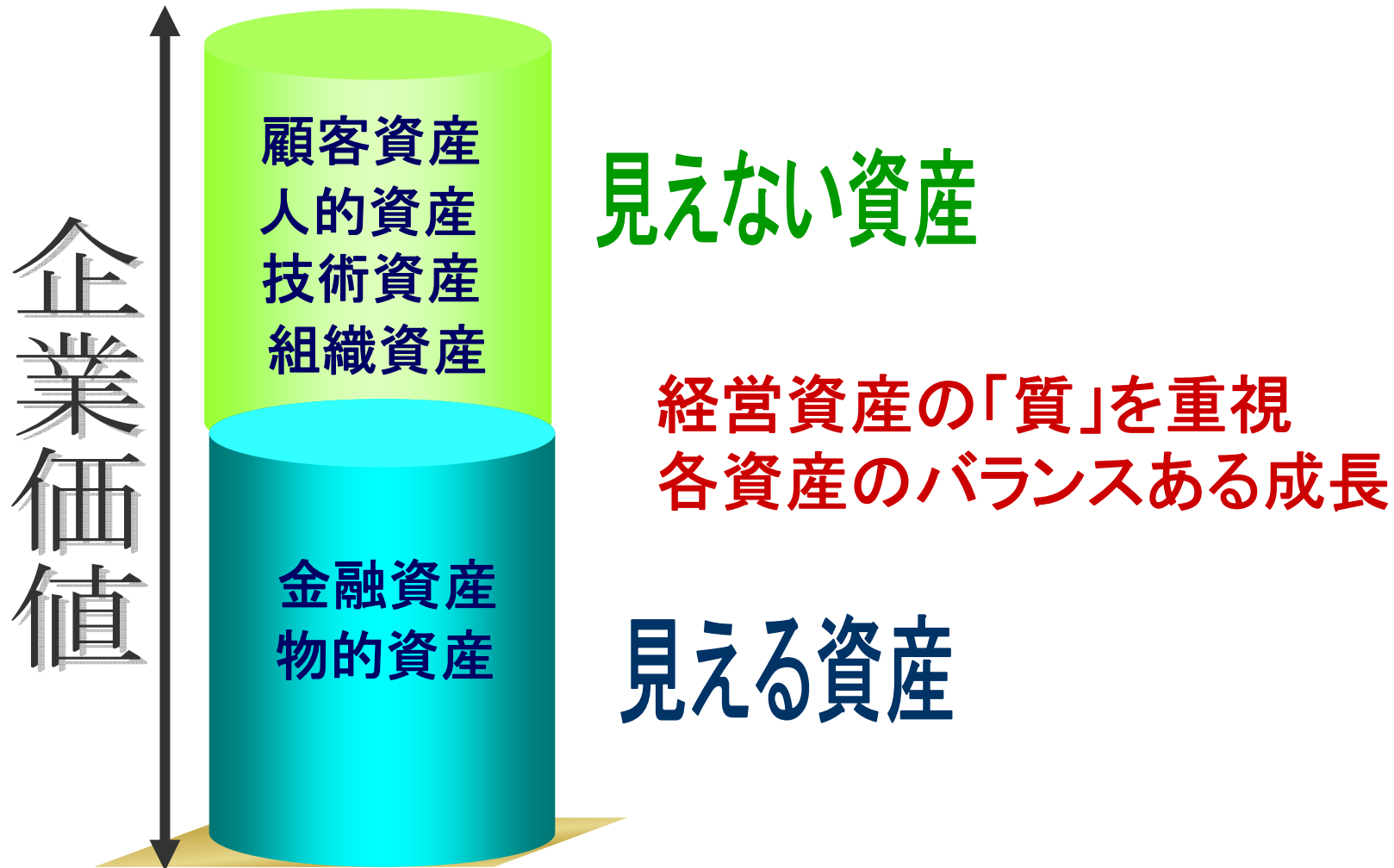
今次中期経営計画の基本方針

「質重視」による企業価値の
持続的向上を目指す

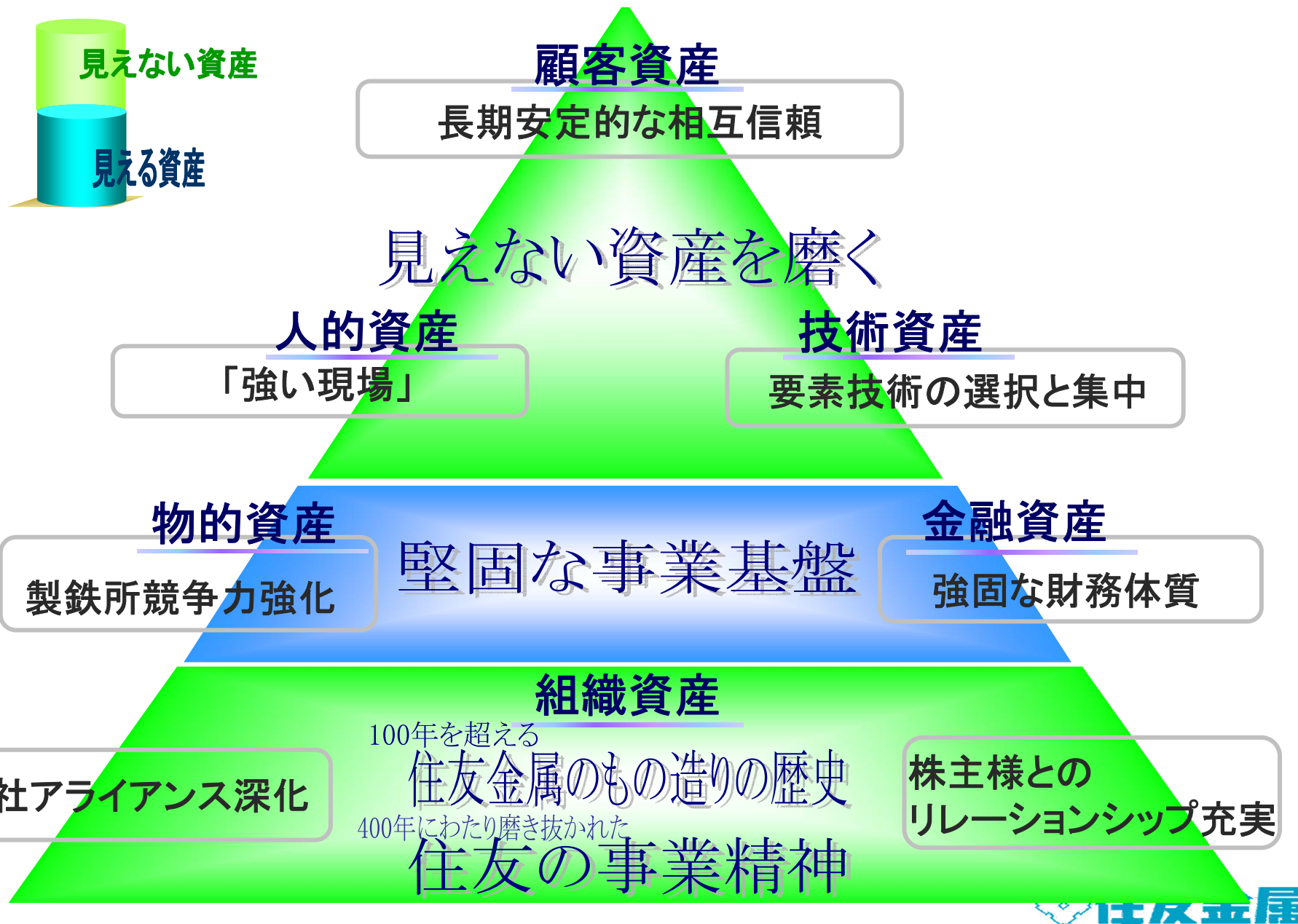


ステークホルダーの皆様から
「信頼される会社」へ

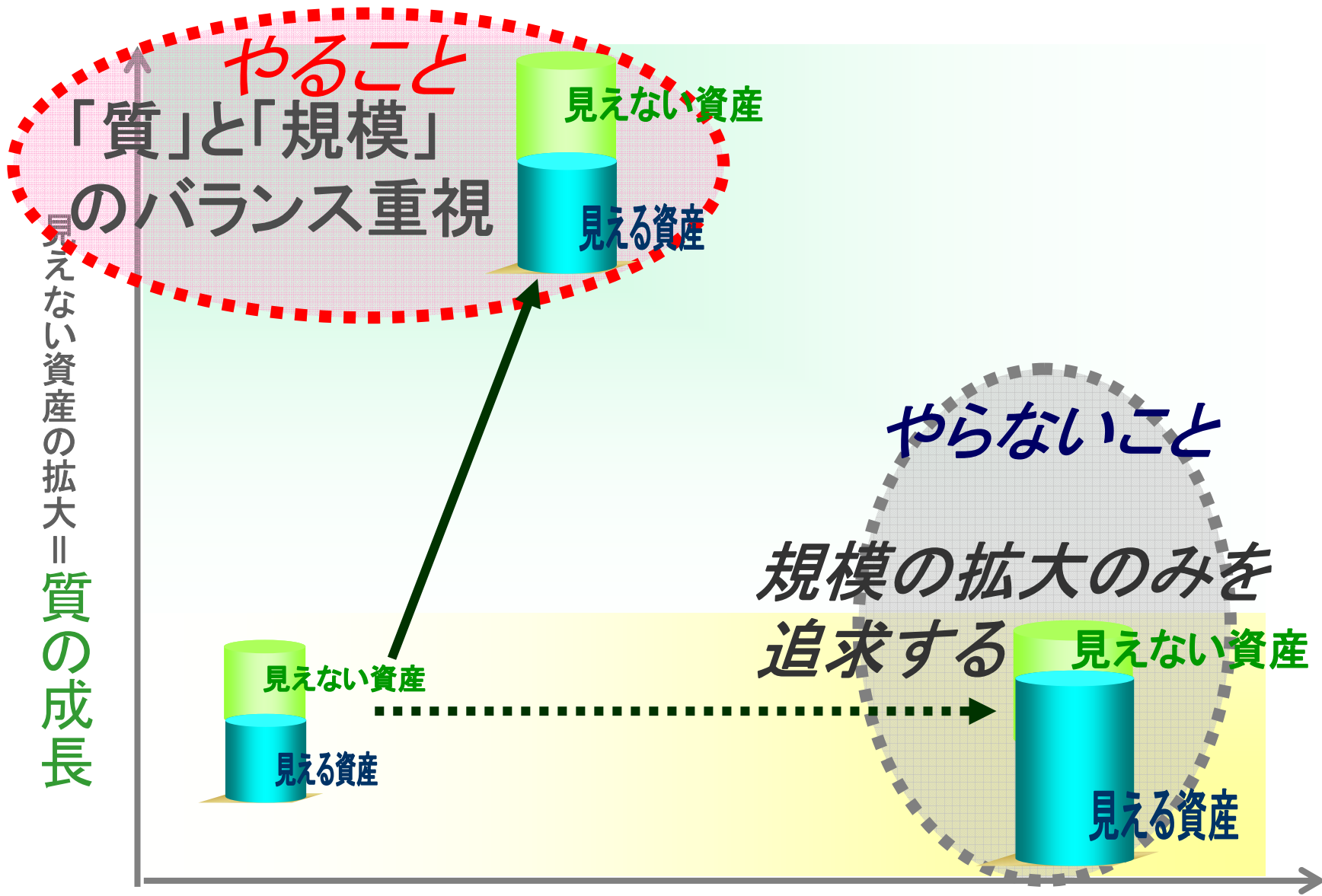
企業価値の構造



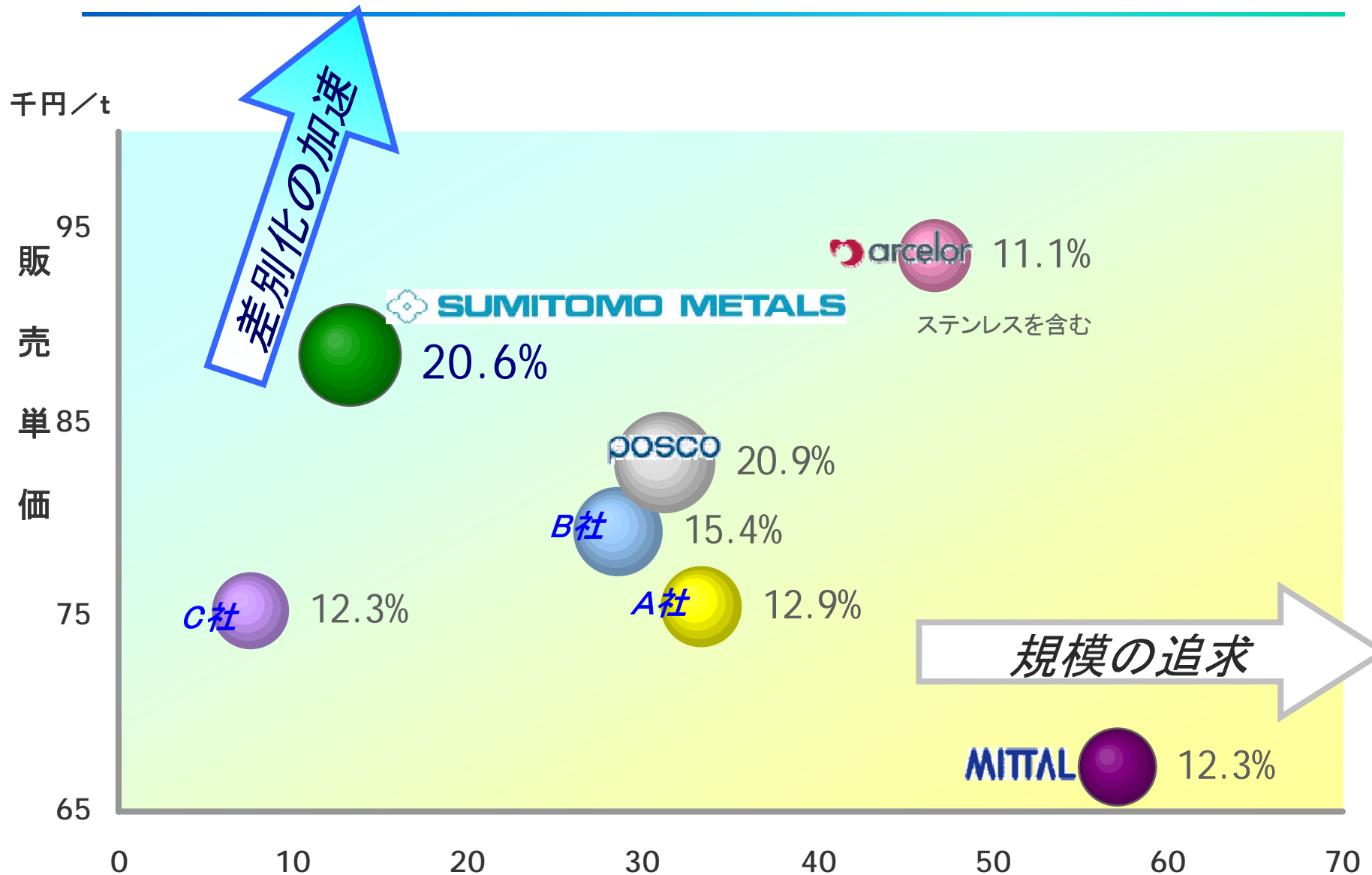
企業価値の向上に向けて



成長の方向



成長の方向



05/10-12実績
11

球のサイズ=営業利益率

粗鋼生産量 百万トン/年

差別化の加速

2006

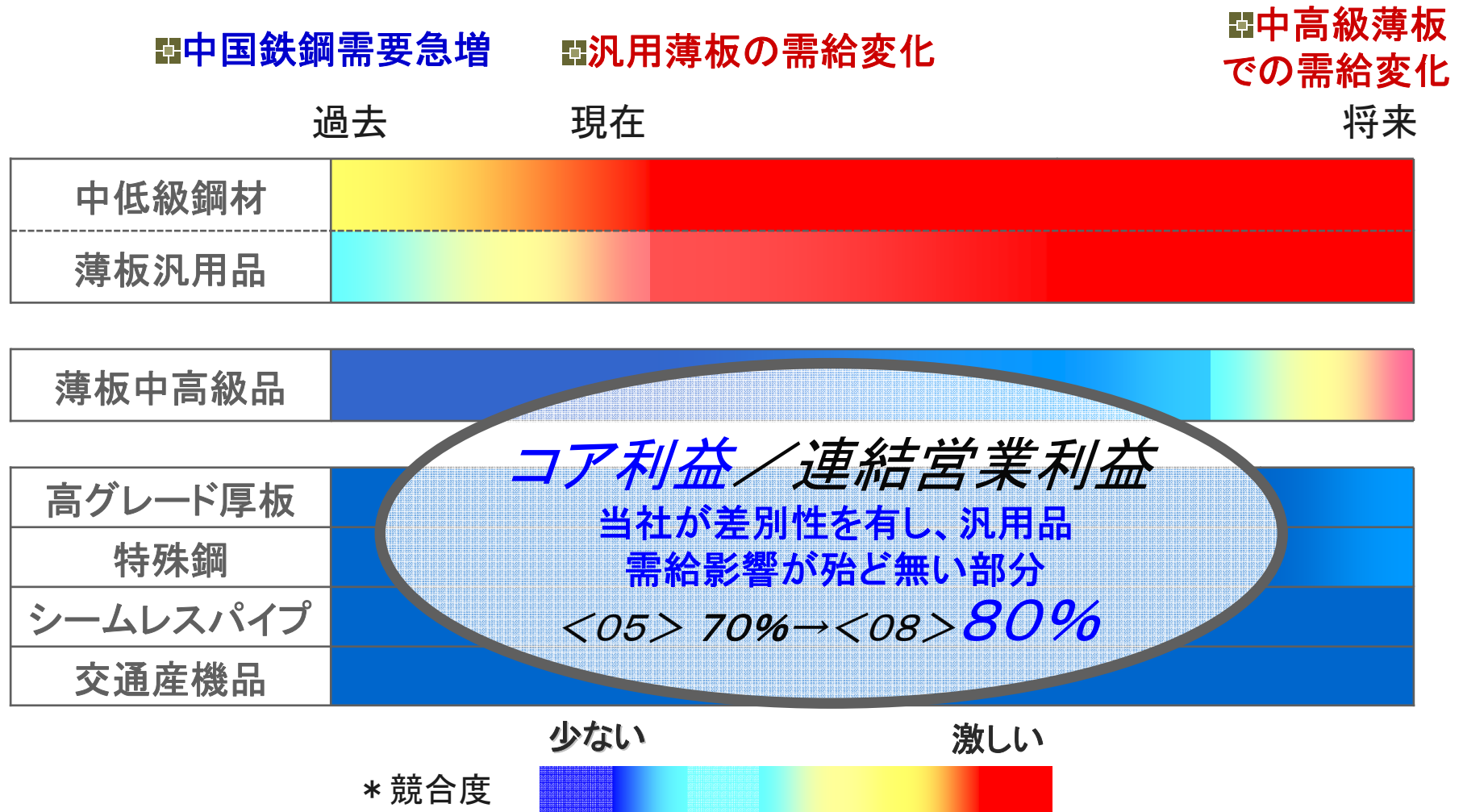
2008

2015

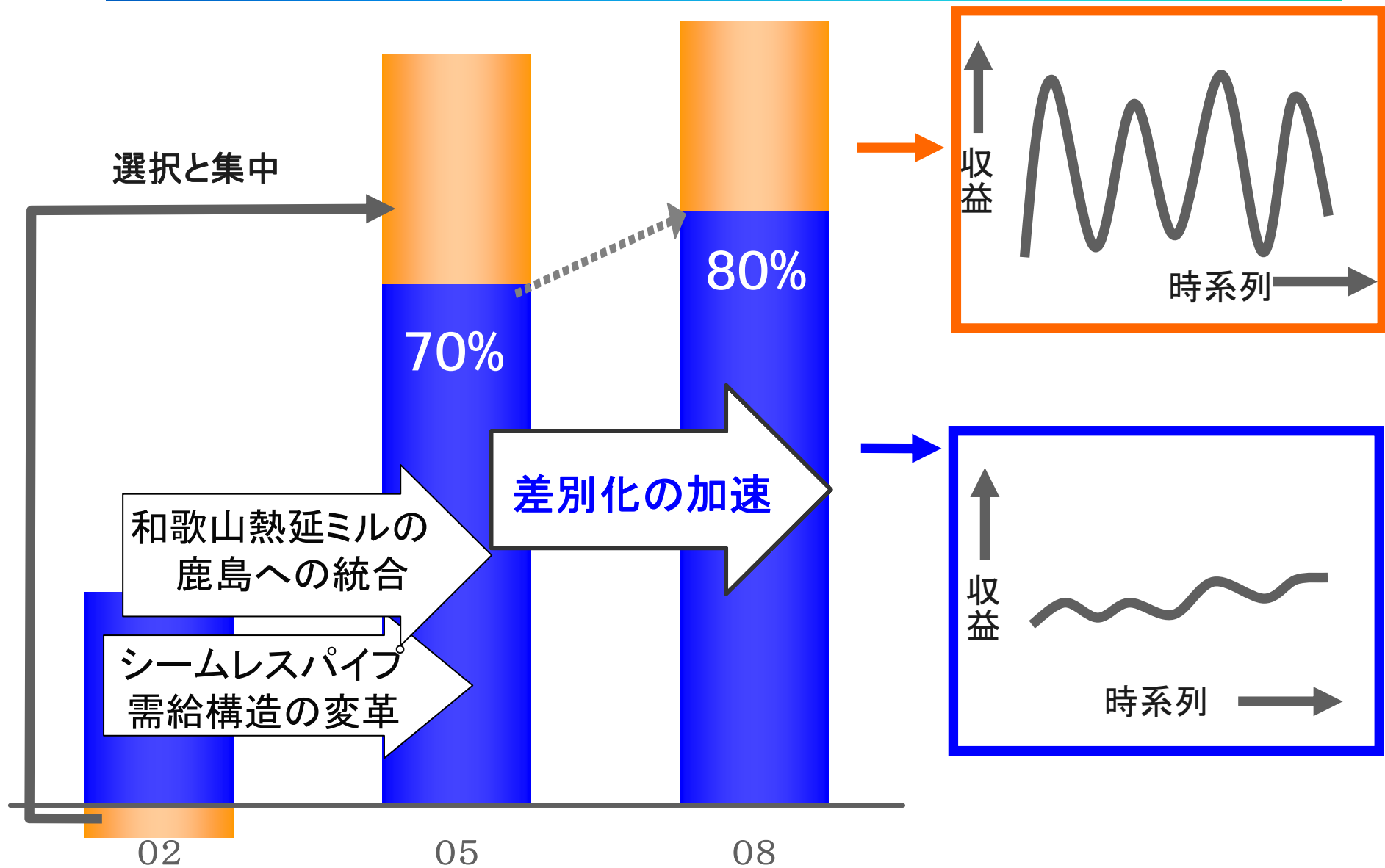


市場構造の変化

鉄鋼需給想定



当社「コア利益」の推移



住金らしさの追求

強いところをより強く

エネルギー・自動車分野への注力

品種構成のハイエンド化

「住金らしさ」

顧客リレーションシップの強化

有利品種への資源集中

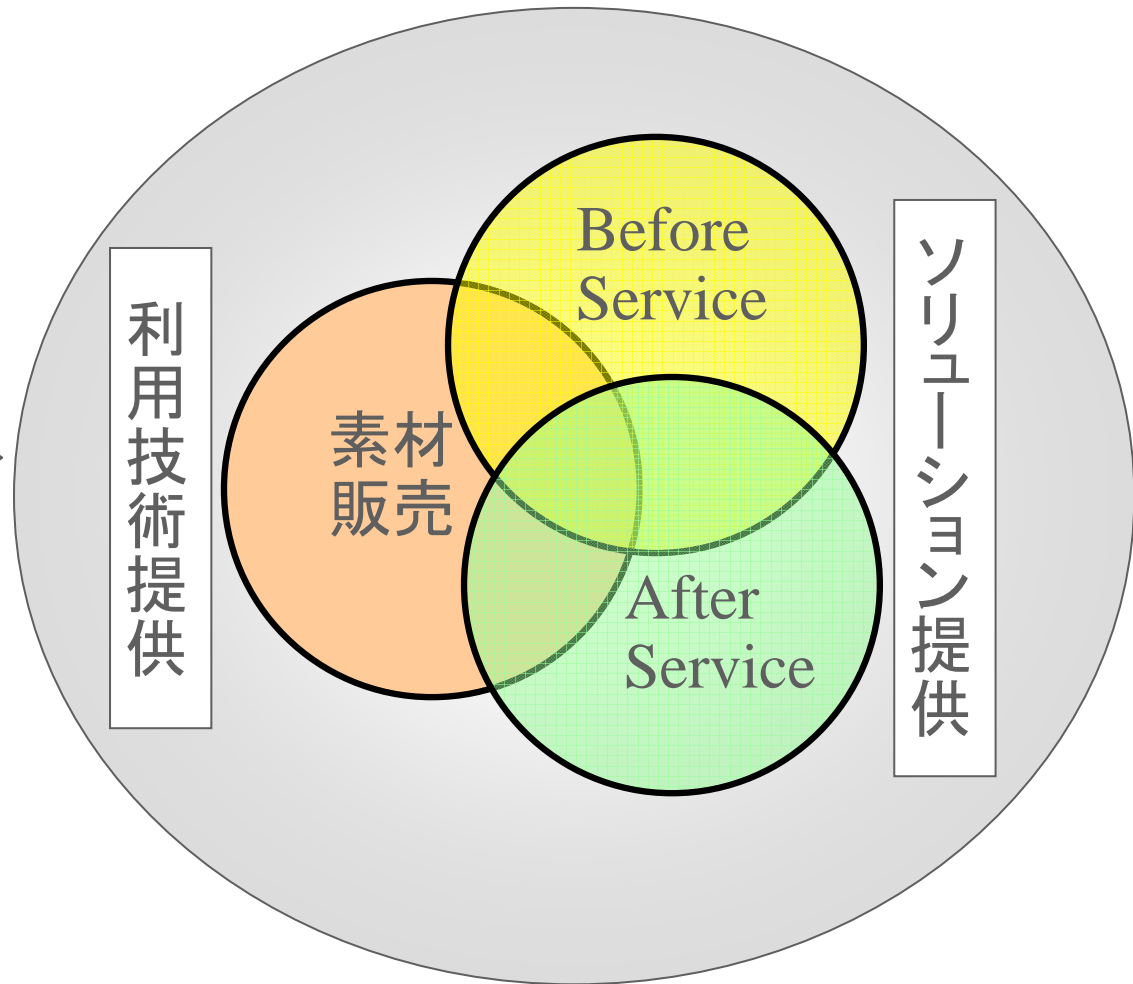
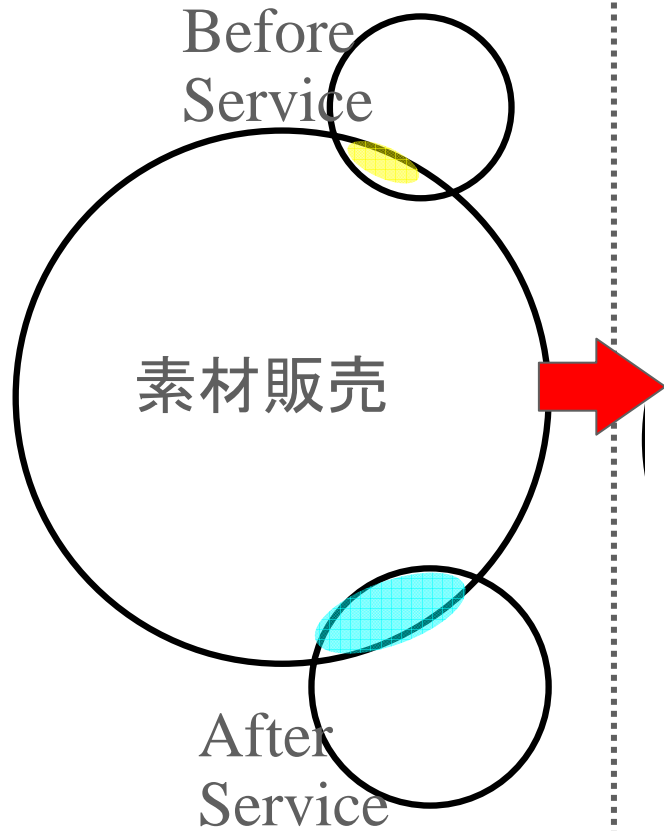
顧客評価NO.1

「質」と「規模」のバランス重視

当社の鉄鋼ビジネススタイル

当社が目指す鉄鋼ビジネス

従来の鉄鋼ビジネス

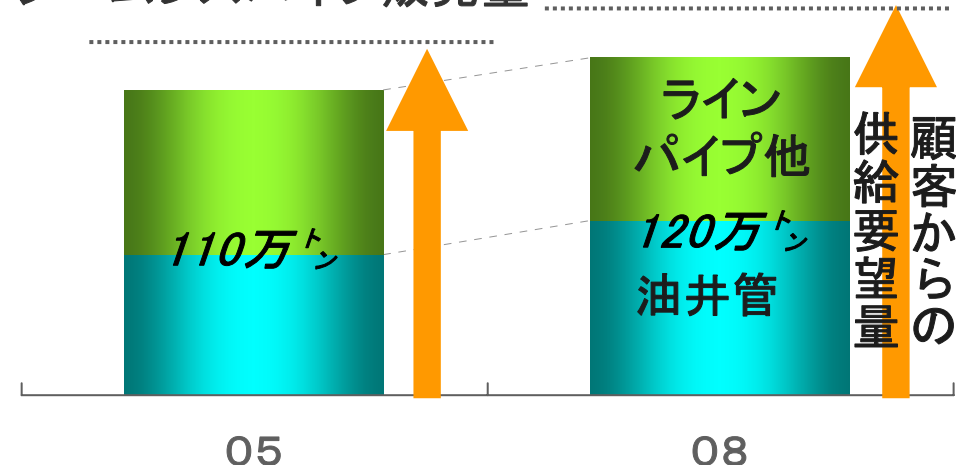


現在のポジション



圧倒的優位性
No.1ブランド

シームレスパイプ販売量



差別化の加速

ハイエンド化推進による更なる差別化と
オイルメジャーとのSCM強化

顧客の高級油井管増量要望への対応
→ **最先端商品化投資の実施**

現在のポジション



技術開発力・鋼管事業
を含めた総合力での優位性

差別化の加速

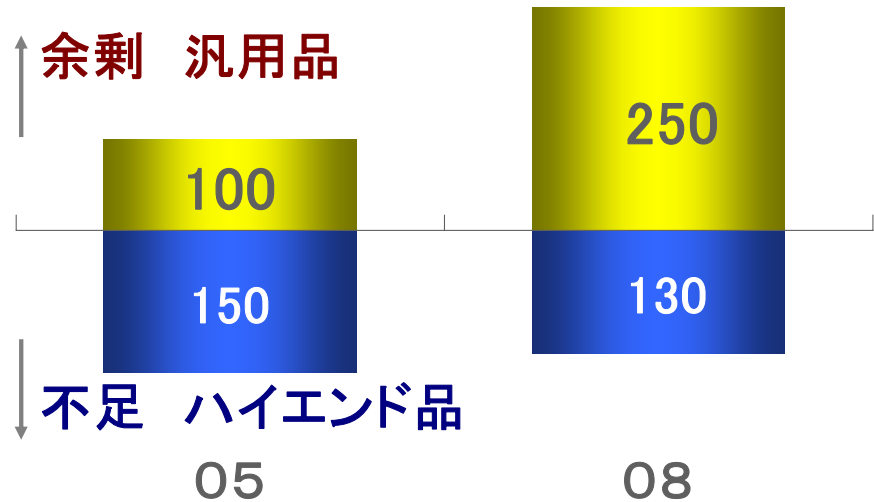
「高強度・高靱性・高寿命」差別化の推進

エネルギー専門営業チーム発足による顧客対応強化

ハイエンド厚板増加対応

→ 加熱炉・水冷設備増強投資の実施

東アジアの厚板グレード別
需給ギャップ(当社推定 万ト/年)

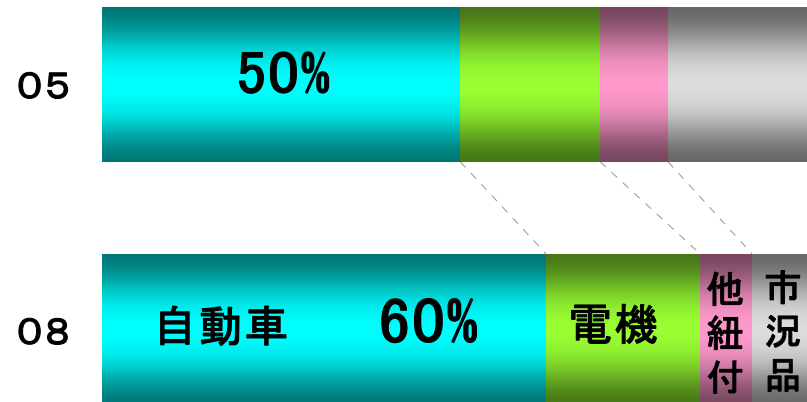


現在のポジション



和歌山・鹿島 熱延ミル統合効果による、常時フル操業体制に裏打ちされたダウンサイドに強い安定収益体質

当社薄板受注構成



差別化の加速

顧客満足度向上の観点でのコイルセンターネットワーク強化
品種構成ハイエンド化

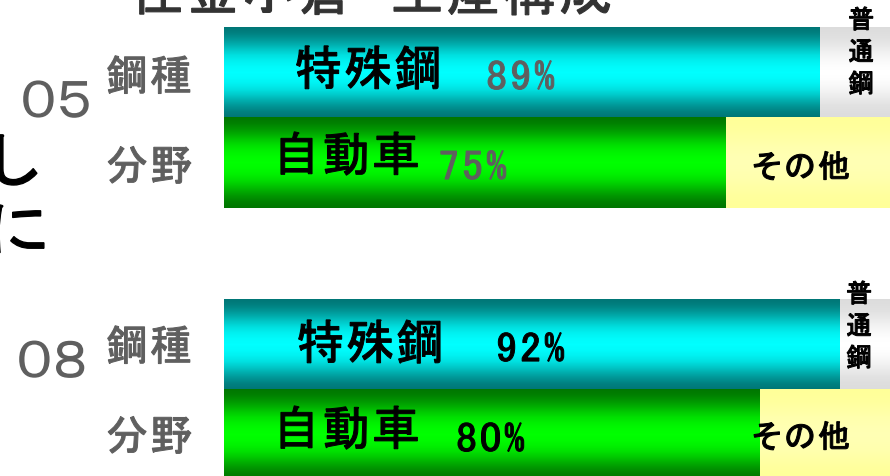
顧客深度向上投資

→ **新CGL、新酸洗の立上げ**

現在のポジション

30年来自動車分野に資源集中した結果としての豊富な技術蓄積による競争力

住金小倉 生産構成



差別化の加速

高機能鋼及び高清浄度鋼対応を推進

日系メーカーの海外展開を支援

→ 製鋼プロセス革新投資の実施

現在のポジション

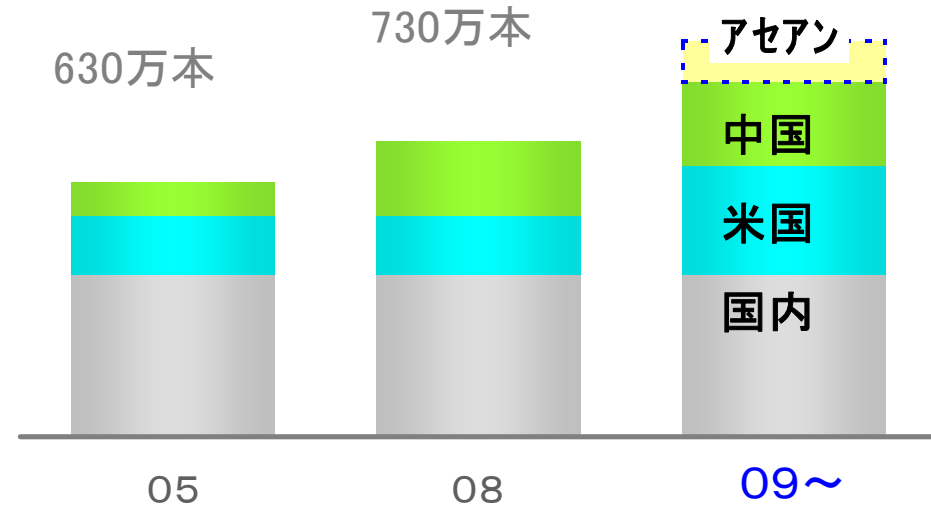


グローバルシェア10%

エンジンの高機能化に応える
設計能力

当社グループ
クラックシャフト生産体制

880万本
+アセアン



差別化の加速

自動車メーカーの現地生産増加に対応した
海外事業の拡大

- 中国 惠州住金 第2プレスライン投資の実施
- 米国 ICI 第3プレスライン投資の実施
- アセアン 供給体制検討

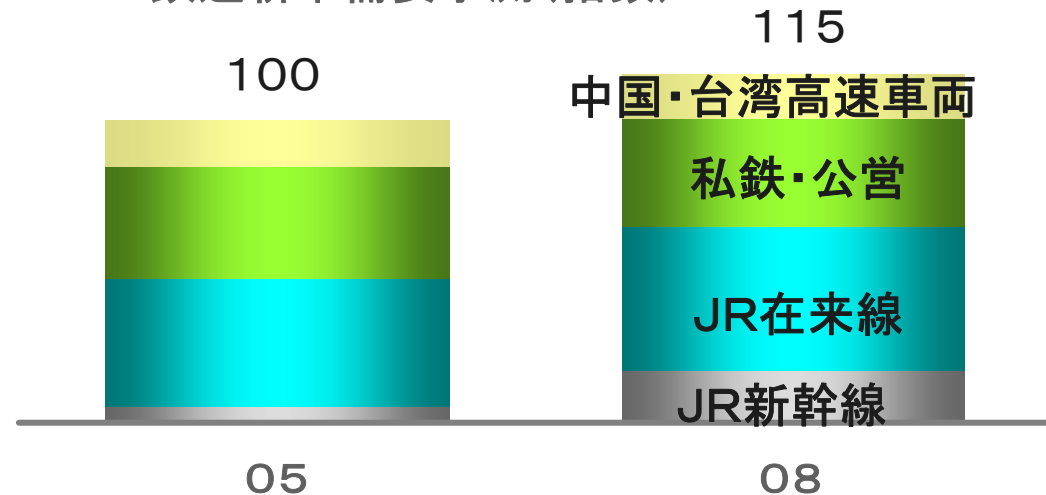
鉄道車両品

現在のポジション

	シェア
国内 車輪・車軸	100% (1位)
連結器	80% (1位)
駆動装置	60% (1位)
台車	25% (1位)

最先端の鉄道高速化対応技術

鉄道新車需要予測(指数)



差別化の加速

東アジア車両マーケットの伸びを確実にフォロー

北米向け車輪輸出の拡大

→ 大型シミュレーション設備の導入

→ 車輪増産対応投資の実施

見えない資産を磨く

2006

2008

2015

人的資産の強化

少子高齢化社会

大量の定年退職者

人材市場の変化に対応した
採用ソースの多様化

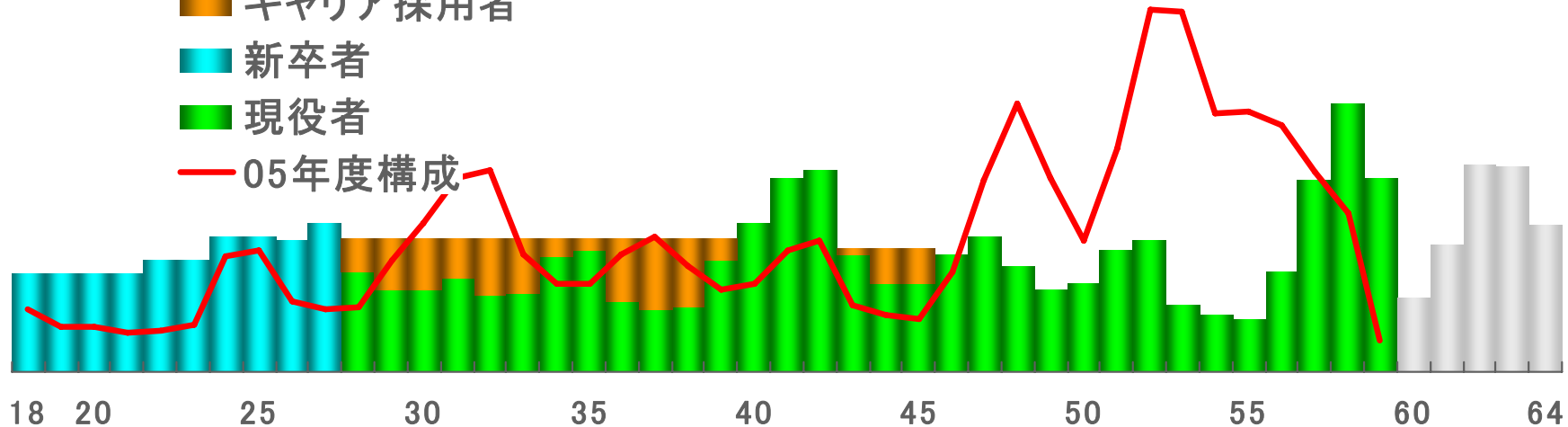
「総技能度」管理による
強い現場の維持向上

グループ内重大災害の撲滅
安全成績高炉トップの維持

優秀な人材を継続的に採用可能な魅力ある企業

- 再雇用者
- キャリア採用者
- 新卒者
- 現役者
- 05年度構成

2015年度の当社人員構成のイメージ

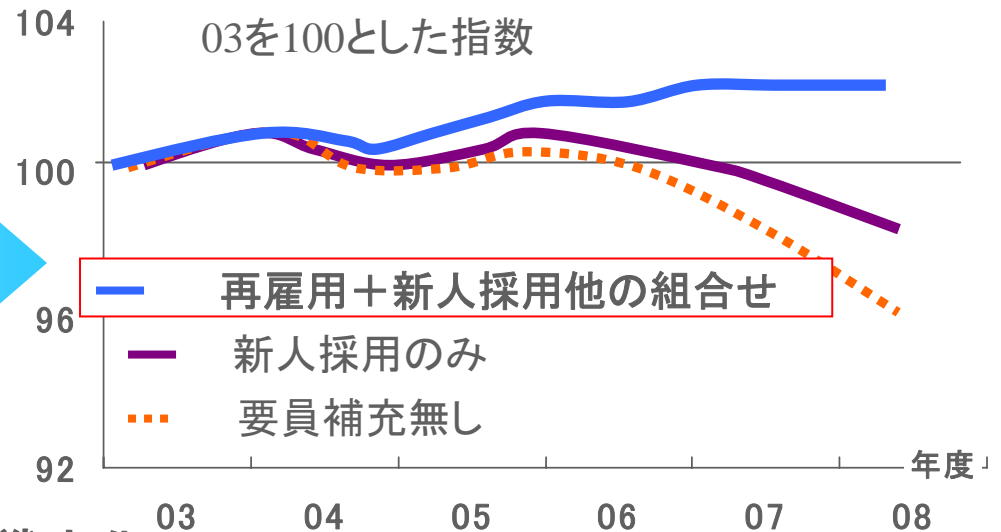


総技能度向上計画

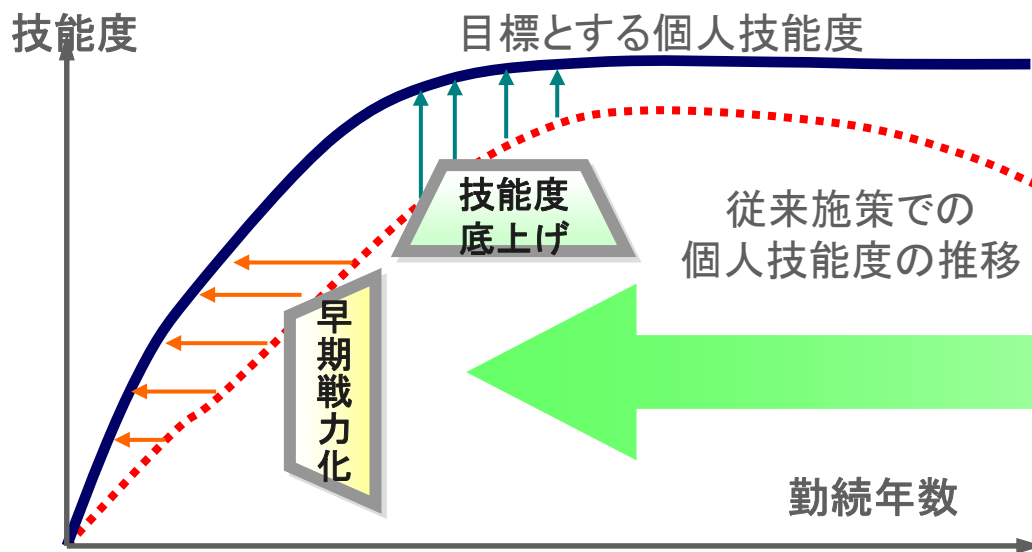
鹿島製鉄所「総技能度」シミュレーション

量的側面

- ⑥ 再雇用者の積極活用
- ⑥ 多様なソースからの人材確保
- ⑥ 教育プログラムの充実



個人技能度底上げと新人早期戦力化

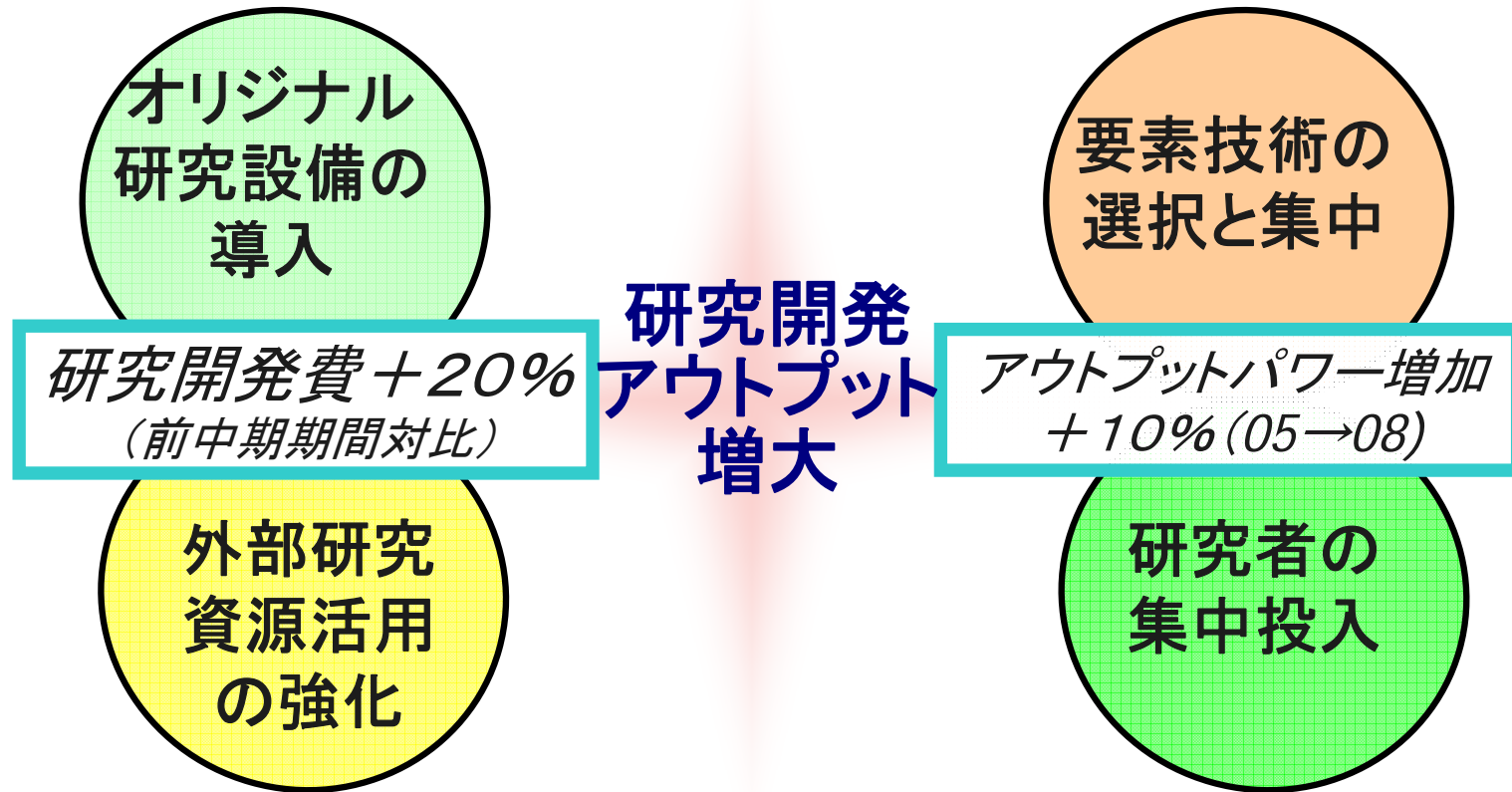


質的側面

- ⑥ 職場技能度MAPを用いた長期視点での必要技能の習得
- ⑥ 教育プログラムの充実
・プログラム・手法・時間・人

技術資産の強化

強いところをより強く



顧客評価NO. 1

株主様とのリレーションシップの充実

- 業績予想の早期化と開示内容・方法の充実

四半期決算ごとに、業績予想を開示

事業活動に関するトピック等の開示を充実

製鉄所における個人株主様向け説明会・見学会開催

- 安定配当の継続

- ガバナンス強化

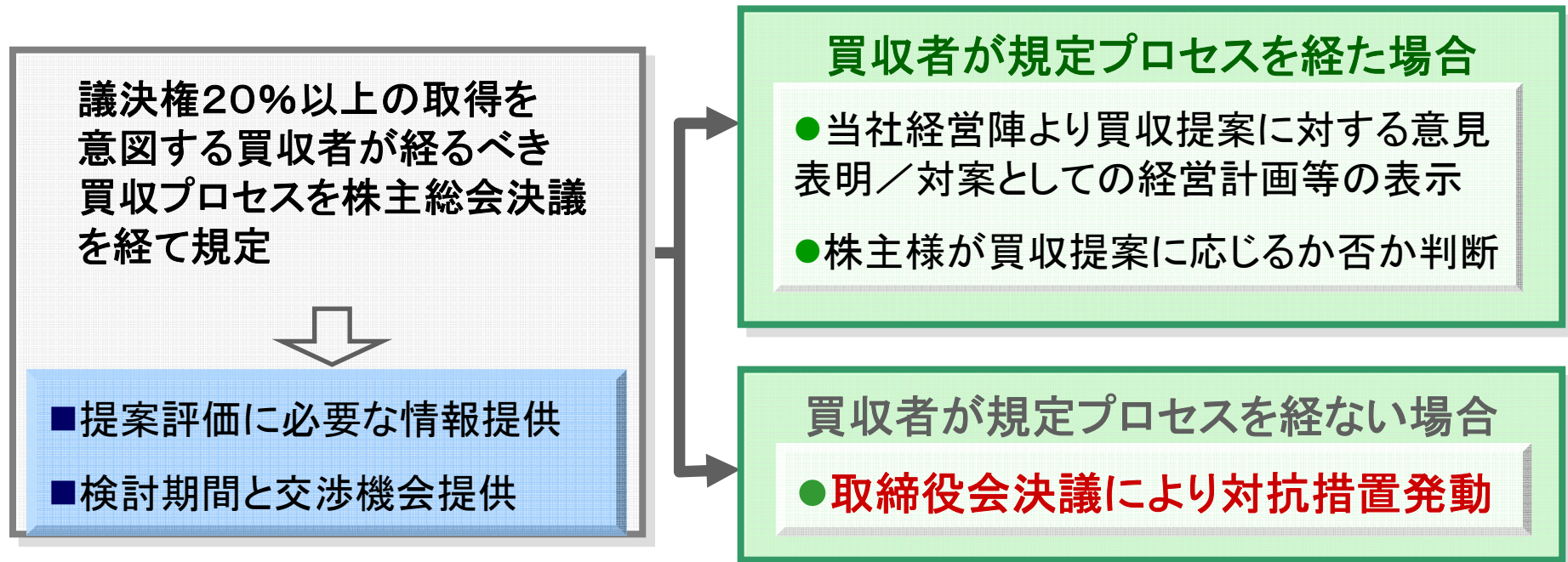
取締役任期を1年間にし、株主様による取締役に

対するガバナンスを強化

買収提案に関する当社対応ルールの明確化

- 株主様が比較判断できるための十分な情報の提供と時間を確保

買収提案に関する当社対応ルール



3社アライアンスの深化

組織資産

新日本製鐵(株)殿、(株)神戸製鋼所殿との間で



- グループ会社等の事業統合
- 和歌山熱延ミルの鹿島統合に合わせた両社からの熱延コイル供給
- 和歌山製鉄所 鉄源設備の共同利用
- 資本提携

■ 技術提携

製鉄分野における相互技術供与

■ 資本市場の変化への対応

**他者による買収提案時の対応に関する3社共同検討
の覚書締結**

CSC

- 和歌山製鉄所上工程合弁事業
- 技術交流

CORUS

- 薄板技術提携
ハイツン製品の共同開発・共通カタログ作成、
Global EVI(Early Vendor Involvement)
- 特殊鋼棒鋼技術提携： 快削鋼等共同商品開発、技術交流

VALLOUREC ■油井管技術協力、米国油井管加工合弁事業

Thyssen
Krupp

- 中国 クランクシャフト合弁事業、原料輸送提携

TIMKEN

- 鉛フリー鋼技術供与、日系需要家サポート

堅固な事業基盤の構築

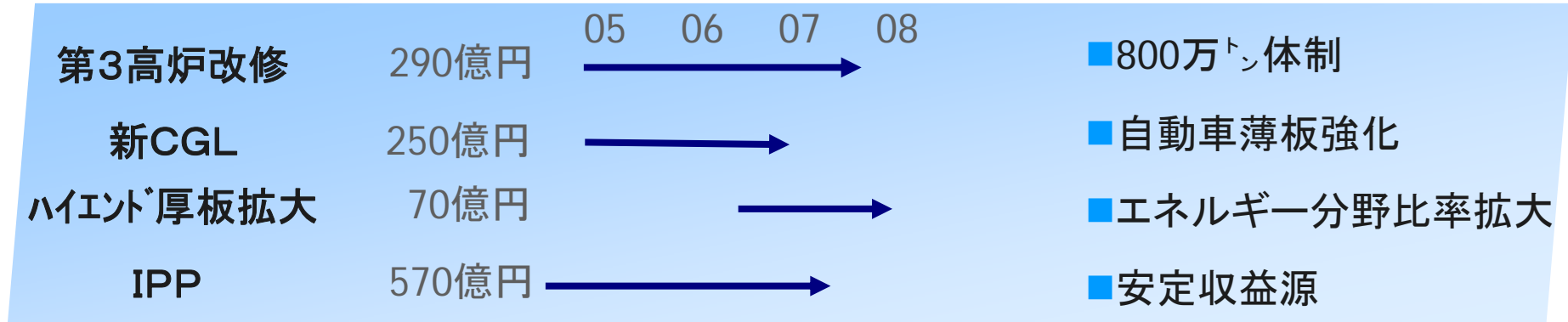
2006

2008

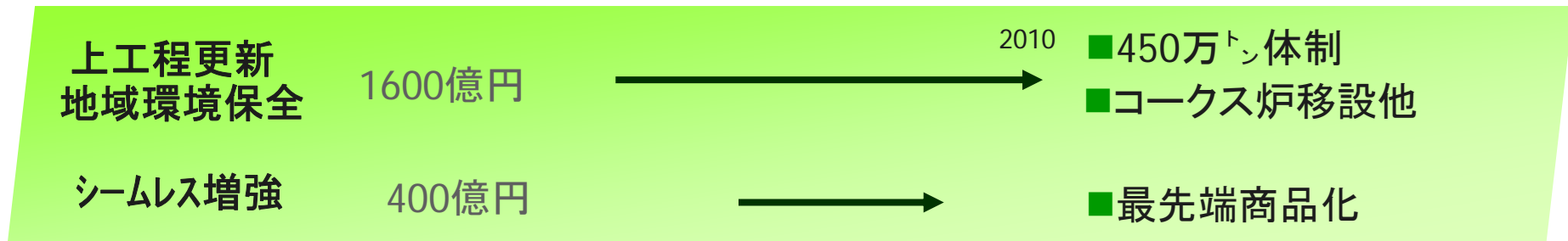
2015

製鉄所競争力基盤の徹底強化

⑧ 鹿島 「800万トン体制 常時フル操業 世界トップレベルのコスト・品質競争力」



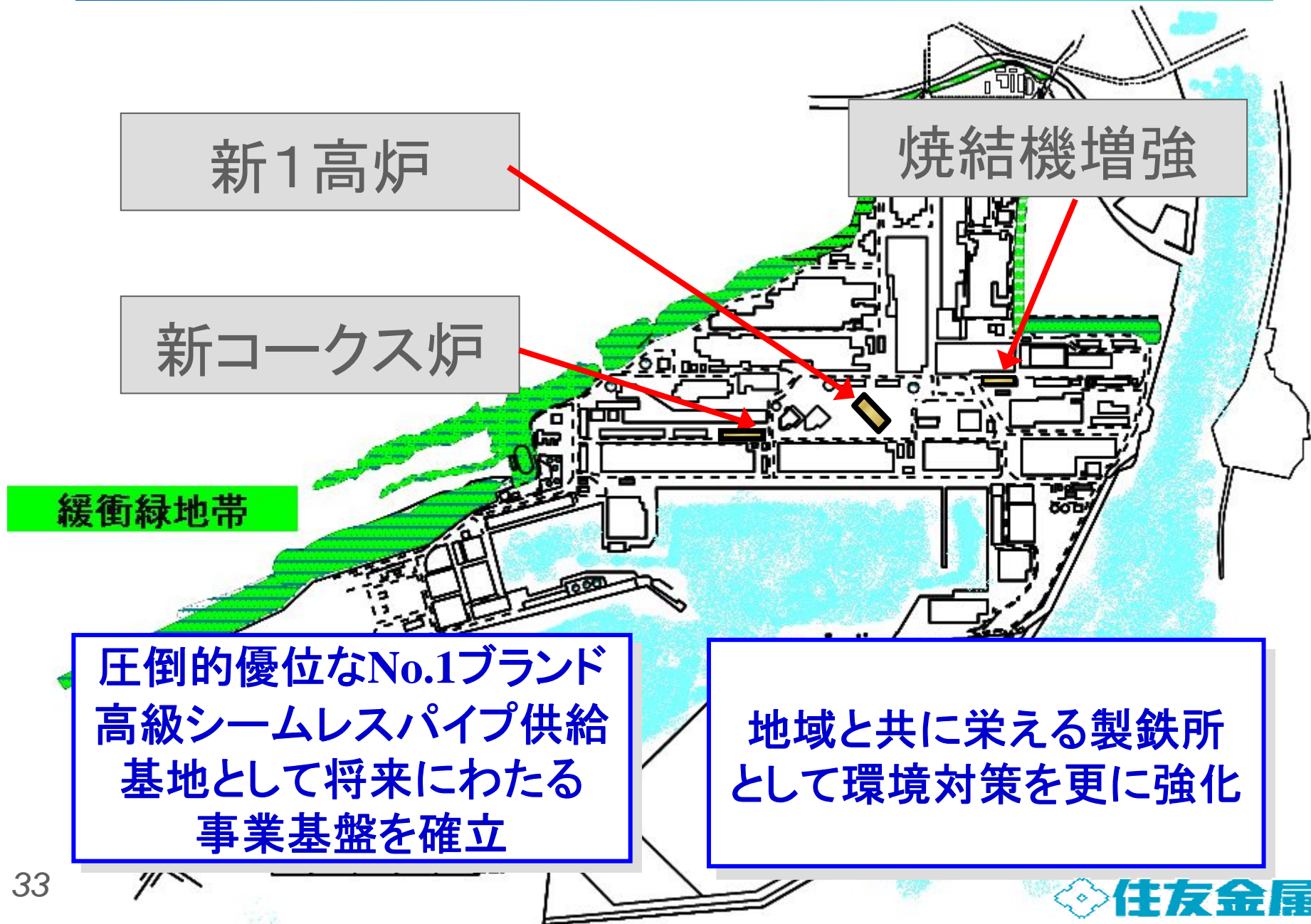
⑧ 和歌山 「No. 1ブランドのシームレスと長期契約スラブによる常時フル操業」



⑧ 住金小倉 「特殊鋼最強の小倉ブランド確立」



和歌山製鉄所上工程更新と地域環境保全



財務計画

2006

2008

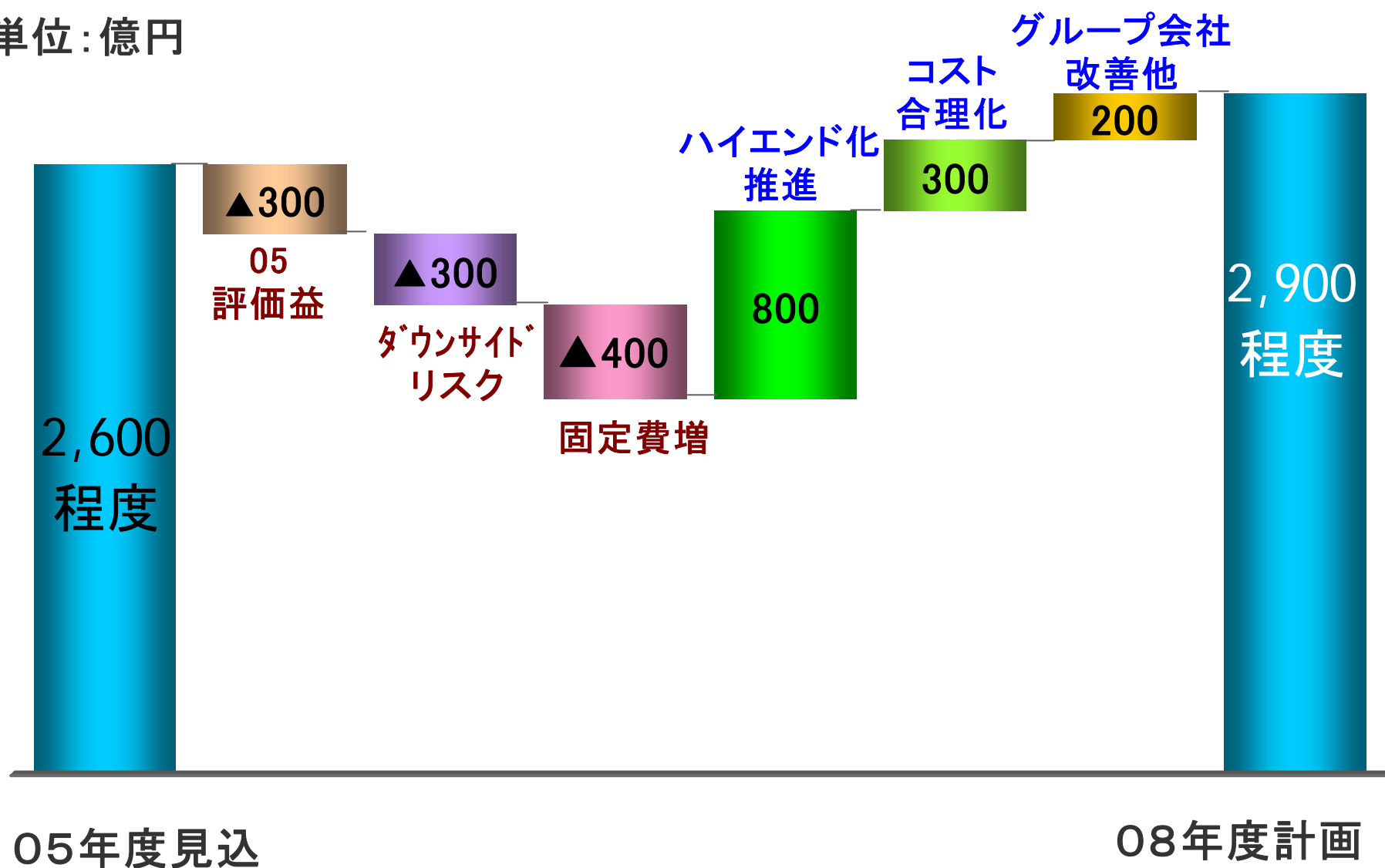
2015

中期経営計画における連結財務指標

億円	05年度見通し		08年度計画
売上高	15,300程度	106%	16,200程度
営業利益	2,880程度	104%	3,000程度
経常利益	2,600程度	112%	2,900程度
当期利益	2,030程度	89%	1,800程度
総資産	21,200程度	112%	23,800程度
借入金	6,900程度	99%	6,800程度
株主資本	6,960程度	154%	10,700程度
ROA	13.8%程度		13%程度
株主資本比率	32.8%程度		45%程度
D/Eレシオ	0.99程度		0.6程度

連結経常利益増減の内訳

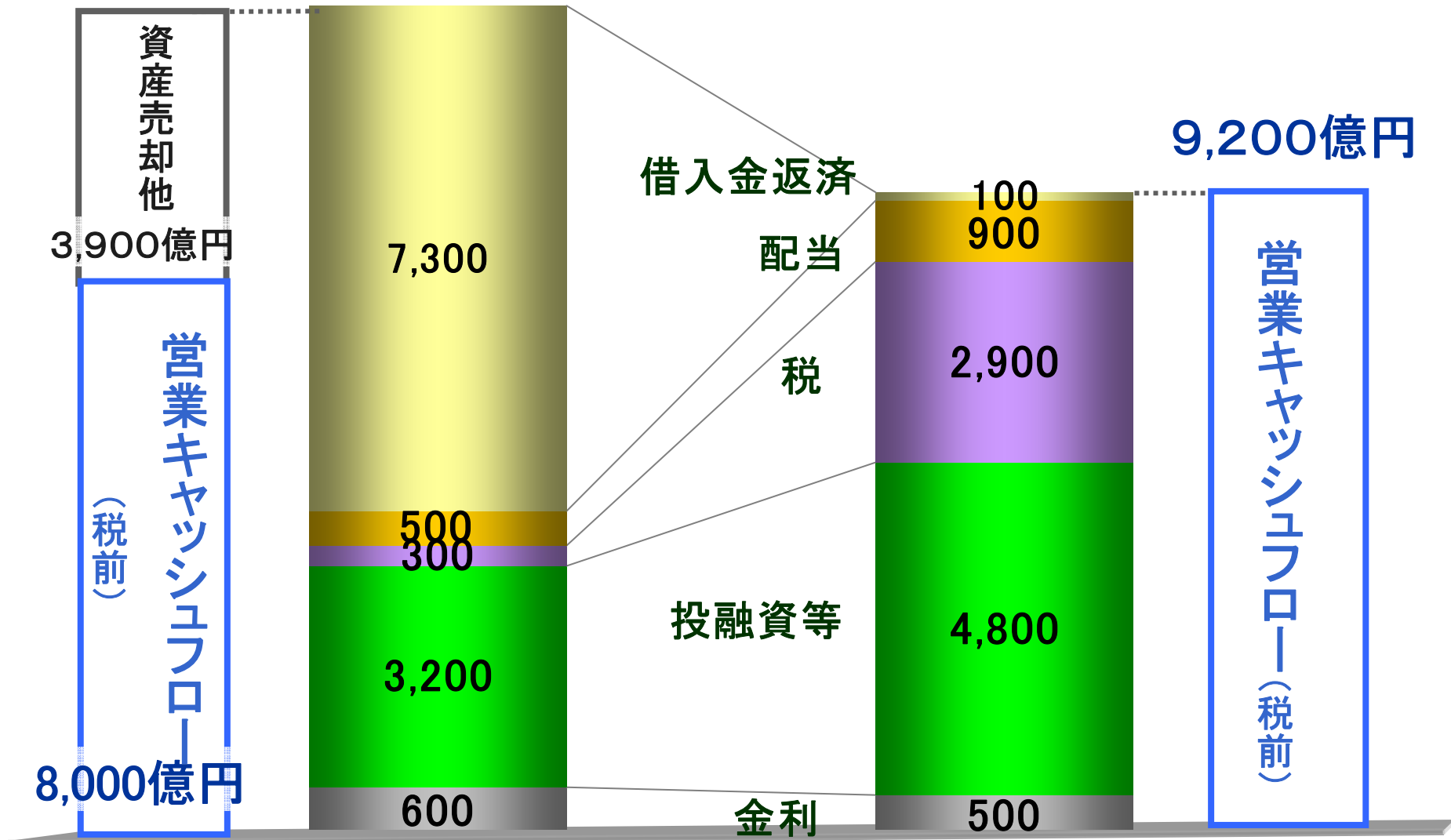
単位：億円



3カ年連結キャッシュフローと使途

03~05

06~08



住友の事業精神

2006

2008

2015

住友の事業精神

信用を重んじ 確実を旨とする

商賈信用

顧客重視

君子愛財、取之有道

別子植林

環境経営

取之有人

事業変遷、
企図理財得失、
弛張興廃

時節に応じた
事業の柔軟性

一意殖産興業
数千万人利共

産業重視、公益重視

事業万世不朽

事業永続性重視

政令遵奉、家則確守

コンプライアンス、ガバナンス重視

「質重視」による企業価値の
持続的向上を目指す



ステークホルダーの皆様から
「信頼される会社」へ